



J-クレジット、J-VER購入によるカーボンオフセットを実施 東京スカイツリー®のライティング点灯に伴い 排出されるCO₂を“実質ゼロ”に

東武タワースカイツリー株式会社

東武タワースカイツリー（本社：東京都墨田区）が運営する東京スカイツリーは、東武グループが進める「環境保全への取り組み」の観点から、東武鉄道（本社：東京都墨田区）が実施している「東武鉄道 社有林篠井山林間伐促進プロジェクト」を通じてJ-クレジット制度で認証されたJ-クレジットおよびJ-VER*を購入し、CO₂換算で「300t-CO₂」分のクレジットを2024年3月19日（火）に取得しました。

※J-クレジット・J-VER制度とは、省エネ・再エネ設備の導入や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

このたび取得した約300t-CO₂のクレジットを活用して、東京スカイツリーのライティング点灯に伴い排出されるCO₂をカーボンオフセットし、“CO₂実質ゼロ”のライティングで東京の夜景を彩ります。

東京スカイツリーのライティング照明機器（2024年3月現在で2,362台）は2012年5月の開業時から、地球環境に配慮してLED化することで、省CO₂のライティングとして点灯してまいりましたが、このたびのカーボンオフセットによる“CO₂実質ゼロ”に取り組むことで、さらに環境保全活動を推進してまいります。

詳細は別紙をご覧ください。



△東京スカイツリーライティング



△篠井山林伐採実施風景

以上

【一般の方のお問い合わせ】

東京スカイツリーコールセンター TEL 0570-55-0634（11:00～18:00）

J-クレジット・J-VER制度を活用した今回の仕組みについて

J-クレジット・J-VER制度とは、省エネ・再エネ設備の導入や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

J-クレジット・J-VER創出者: 東武鉄道株式会社
 適切な森林管理を行う<森林計画に基づいた間伐・植林等>
「東武鉄道社有林篠井山林間伐促進プロジェクト」にてJ-クレジット・J-VERを創出

J-クレジット・J-VERを売却
 売却費で適切な森林管理等を実施。



J-クレジット・J-VERを購入
 東京スカイツリー®のライティング点灯に伴い
 排出されるCO₂を実質ゼロに。



J-クレジット・J-VER購入者: 東武タワースカイツリー株式会社
CO₂換算で約300t-CO₂分の「クレジット」を購入
 内訳: J-クレジット 約100t-CO₂ ・ J-VER 約200t-CO₂

東京スカイツリーのライティング点灯に伴う1年間の使用電力により排出されるCO₂排出量は、年間で約165t-CO₂となります。今回のクレジット取得は、**約1年10カ月分のCO₂排出量に相当することから、2024年4月1日(月)以降、継続してオフセットしていくことで“CO₂実質ゼロ”のライティングとして点灯してまいります。**

「東武鉄道社有林篠井山林間伐促進プロジェクト」の概要

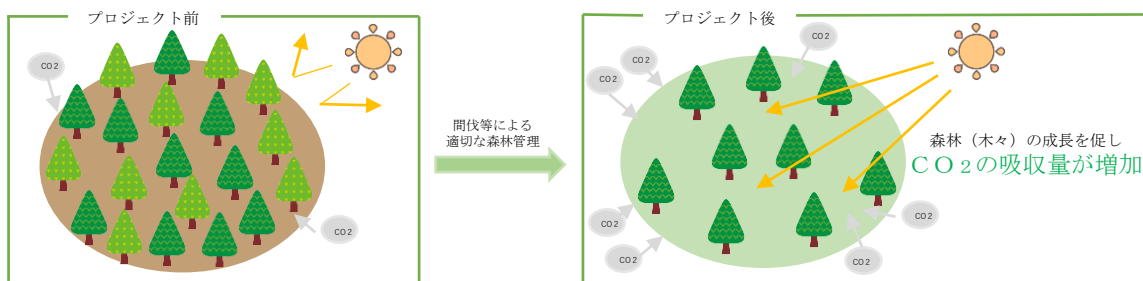
1. J-VERでの創出

- ①創出地 栃木県宇都宮市
- ②創出面積 53.3ha
- ③クレジット取得日 2013年5月

2. J-クレジットでの創出

- ①創出地 栃木県宇都宮市
- ②創出面積 62.7ha
- ③クレジット取得日 2023年10月

篠井山林間伐促進プロジェクトでは、計画的に下草刈や間伐、枝打ち等の適切な森林管理を行うことで森林(木々)の成長を促し、森林全体のCO₂吸収量を増加させています。



以上

【一般の方のお問い合わせ】

東京スカイツリーコールセンター TEL 0570-55-0634 (11:00~18:00)